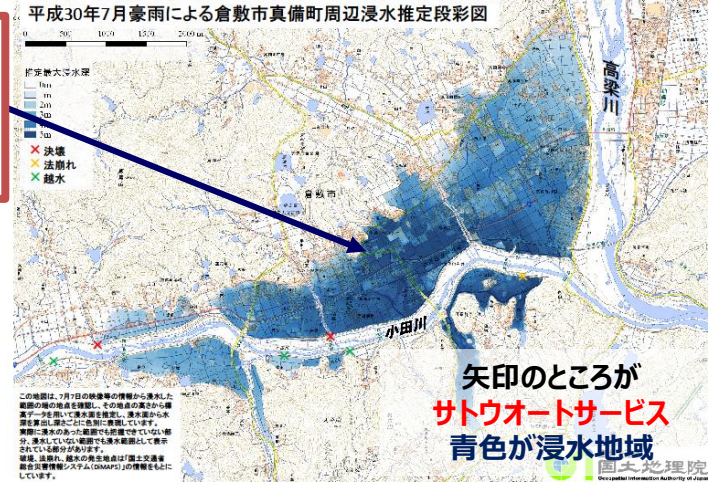


平成30年7月豪雨被災事業所

サトウオートサービス (R1年7月29日訪問)

【所在地】岡山県倉敷市真備町箭田1034 【雇用保険被保険者数】1名
【事業内容】車検、自動車の修理・メンテナンス、新車・中古車の販売
【代表者】佐藤 通洋



3mを超える浸水により工場や事務所が大きな被害を受けた「サトウオートサービス」。多くの方の支えにより、早急に事業を再開し、被災前と変わらず安全と信頼を提供しつづけています。被災直後の状況や、現在までの復旧に向けた取組について、佐藤社長とご家族にお話を伺いました。

被災状況は？

事務所は天井まで浸水し、工場のリフトや電気工具などは全て水没した。リフトからは以前はしていなかった大きな音がするようになった。レッカー車は早めに高台に避難させていたが、自動車は間に合わず38台が水没。そのうち4台はお客様のものだった。現在は隣に新しく事務所を建築中で、会社全体では7割まで復旧している。

被災からこれまでの道のり

水がひいた頃から、商工会青年部の方々が20~30人ほど来て片付けを手伝ってくれた。工場や事務所のを全部出して掃除をし、洗って使えるものは洗い、使えそうにないものは捨てた。当時は電気も水道も使えない状態だったため、井戸から汲み上げた水を使っていた。周囲の様々な職種の方が支援してくれたので助かった。被災から1ヶ月間は、道路が混んでいない早朝や夕方に水没車の引き取りを行い、日中は掃除や片付けをしていた。水が引いた翌日から水没車の引き取りを行い、10日ほどで工場でなんとか車検ができる状態になった。また、被災1ヶ月後からは、暗い夜が続く被災地域一帯の雰囲気明るくしたいと思い、「がんばろう!!まび」というメッセージをイルミネーションで毎晩点灯させていた。

被災から1年経って思うこと

顧客リストがなくなってしまったからこそ、次につながるように依頼があったお客様ひとりひとりにきちんと対応した。車検の完了日を遅らせてくれるなど配慮してくれたのは大変ありがたかった。中には、いつも車検を頼んでいるディーラーを断って、「真備町の方に頼みたい」と依頼をしてくださる方もいて、人のあたたかさを感じ、頑張ろうと思えた。一方で、真備町から1700人ほどが転出し、家が所々空いているのを見ると寂しく感じる。建築業や自動車関連は需要があるが、飲食店やサービス業などは客足が遠のいている。はやく落ち着いて、前の真備町に戻ってほしい。

サトウオートサービスを訪問して

豪雨災害から1年が経ち、被害を受けた方々にとっては本当に大変な1年だったと思います。泥水が洗い流され、道が整備されていても災害の爪痕は深く、空き家の数やお店の活気からは復興にはまだ時間がかかる状況ですが、真備町を応援したいという声や行動が復興へのエネルギーとなっています。佐藤社長が灯した「がんばろう!!まび」というイルミネーションでも多くの被災者が勇気づけられたことでしょう。真備町で30年以上も信頼と実績を積み上げてきたサトウオートサービスには、今後も真備町を引っ張ってほしいと思います。真備町が以前のような明るさと活気を取り戻す日も遠くはないかもしれません。



泥水が入り物が散乱した工場内



“復興の灯”にしたいという思いを込めて



現在の様子

看板の高さまで上がってきた水位